兒童遊園問題

東京女子高等師範學校教授　乙竹岩造

田園村落の子供は、學校から歸つて後も或は田畑のあたりに或は野原の邊に、到る處に廣い自然の遊び場を見出すのであるが、都會の兒童はさういふ場所が殆ど得られない。そこで近來兒童遊園といふ問題がだん〳〵と講せられて來た。

兒童遊園は始めは獨逸の都會地に起つたものであるが、その後だん〳〵と多くの文明國に及ぼされて、今日ではいづれの都會地に於ても之を見るやうになつた。その始めて起つた所の獨逸の有樣について見ると、たとへばベルリンなどではいづれの公園も其一部分を割いて兒童遊園にして居るので、そこには少しも危くないやうに出來て居て砂山などを作つたり、子供の身丈けに合ふやうなベンチをおいたり、或は簡單な運動道具を備へつけたりして居る處もあつて、子供が少しも車馬その他の危險もなければまた雜沓喧躁のわづらひもなく、不良醜惡の刺戟誘惑もなく、極自由にかつ愉快に空氣のよい處で遊べるやうに出來て居るのである。之はひとり公園のみではない、一般公衆の集る處でしかも大なる庭園の備はつて居る處などでは、かういふ設けの出來で居るものが少くない。たとへば動物園の如き處にはやはり兒童遊園が設けられて居る。

これに倣つて起つたものが米國に於ける兒童遊園の運動であつて、此運動は最近に於てはなかなか盛になつて居る。此の運動の始めは私設の組合などの盡力によつて起つたのであるが、後には都市の公共事業としてだん〳〵盛になるに至つた。

たしか千八百八十六年にボストンで、或慈善團體がベルリンの例に倣つて二つの兒童遊園を此町に設けたのが、米國に於けるそも〳〵の初めであるが、其後次第に多くの都會に起つて來て、千九百〇六年には全國にわたれる大なる組合が出來て、二十二州が之に加はり、都會地に兒童遊園を設けるといふ運動が全米國に擴まつて來て、特に此の運動の機關としてプレーグラウンドと題する雜誌さへ出來るやうな有樣である。爾後非常な勢を以て發達して來た、その有樣を一言して見ると、此の大會のあつた翌年卽ち千九百七年には六十六個の都市が之を設け、その次の千九百〇八年には百八十五個の都市に於て、更にその翌千九百〇九年には三百三十九の都市に於て、それから五年を經たる千九百十三年に至つては六百四十二の都市に於て、いづれも皆之を設けるやうになり、總計三千有餘の兒童遊園が出來て居るやうな有樣である、尤もその名稱は、都會によつて多少異つて居るやうである、ある處ではシビック、センターと稱して居るし、他の處ではレクリエーション、センターなどゝ呼んで居るし、或は單にプレーグラウンドと云ふて居る處もある。

かういふ兒童遊園の內容に至にては、幼兒を主として設けられたるものと、稍長じた兒童の爲めに設けられたものとによつて多少異つて居るので、靑少年の自由運動場として設けられたものゝ中には運動の方法を敎へる敎師などの居る處もあり、またいろいろの運動機械の備へつけられて居る處もあり、或は大人の遊戲慰安等の爲めに、音樂の演奏などの催されるやうなのもあり、運動倶樂部の布設せられて居るのもあり、入場料を取つて居るやうな所もあるが、兒童遊園にはさういふ込み入つた事はしないで、たゞ極自由にかつ樂しく子供が遊べるやうに出來て居るのである。

我が國に於ても都會地にはどうしてもかういふ

場所が必要であらうと思ふ。都會地に於ては田舍と異り人家は稠密であり、車馬は往反する、子供が自由に遊べる場所とては殆んどないから何等かの設備を講ずる事はどうしても必要であらうと思ふ。さうでないと車馬雜沓の街上にうろ〳〵して居て、ろくな遊びも出來ず、かつなか〳〵危險の多い事である。それのみならず石を放つたり、落書きをしたりいろ〳〵のいたづらをする事にもなり、或は四つ角や店さきにぶら〳〵して居つて、衞生上にも道德上にもあまりよろしくない影響を受ける事は避くべからざる所であらう。それならば淺草などのやうな物見遊覽の場所はどうかといふと、之れはまた子供に誠によくない影響を與へる事が多いやうである。此點については、いつか倉橋文學士がたしか本誌上で述べられて居る通りで、子供をさういふ場所に始終やるといふ事は隨分危險な事である。そこでどうしても兒童遊園の如きものが都會地に於ては特に必要になつて來るのである。急に發達した都會などに於ては殊にさうである。ガンスベルグといふ人が俄に發達した工業地などに於ては、もと子供の遊び場であつた所がだん〳〵と取り上げられる、四五年前までは彼等がつばなをつんだり——蝶々を捕つたりした所が、今は工場になつたり倉庫が建てられたりして居る、どこへ行つても車馬雜沓で危い處か、さうでなければ無用のもの入るべからずと掲示されて居る處ばかりで、遊び場を見出さうとする子供には殆ど八方塞がりであると云ふ事を云ふて居るが如何にもさうである。かういふわけであるから兒童遊園は都會地に於てはどうしても缺くべからざるものであらうと思ふ。

尤も學校の運動場等を開放して子供の遊び場に供するといふ事なども至極よい事である。之れは近頃米獨諸國でだん〳〵と行はれて居る事で、たとへばニューヨーク市では千九百十二年以來學校の授業時間以外に於て、その運動場や雨天體操場

や乃至は幼稚園の庭園などを開放して、子供の自由遊戯場にして居るものが二百二十二個所の多きに達して居る。即ち云はゞ此市が二百二十二個の兒童遊園を新に得たやうなものであるが之等も誠に結構な中である。我國でもたしか二葉幼稚園などは近所の子供の遊び場所に開放して居られると聞いて居る。その外富豪の庭園などで之を開放して、子供や大人の散樂や遊戯を許して居る處もだん〳〵あるやうであるが之れ等も誠に嬉しい事と思ふ、ともかく兒童遊園の問題は田舍にはさう必要もなからうが、都會地に於ては至極必要な事であると思ふ。我が國に於ても追々さういふ場所が設けられるやうになりたいものであると望んで居る次第である。（文責在記者）

教育と兒童の身體障碍

文學士　上野陽一

十二度の近眼といふと、よほどひどい近眼である。市街などは到底眼鏡なしで歩くことは出來ない。机の上の仕事でも、よほど眼を近づけなければならないから、無理に眼鏡なしでやると、早く疲れるのみでなく、頭が痛み出す、氣が鬱陶しくなるなど、樣々の障害をひき起す。然るにこゝに一つ恐ろしい話がある。先達の事、或人の子供が十二度の近眼であるのを、尋常の四五年になるまで、親も先生も、學校醫も、かゝりつけの醫者も知らずに居て、そのために生ずるさま〳〵の障害を、やれ精神病であらうとか、低能であらうとかいつて、催眠術をかけたり、何とかいふ見當はづれの藥をのませたりして、散々弄くつた揚句の果、やうやくそれが近眼であることが分つて、眼